

エコ☆チャレ アイデアの応募について

資料 7

名古屋産業大学の2022年度秋学期開講科目「循環型社会論」では、尾張旭市のごみ減量をテーマに提案書の作成に取り組んでいます。その一環として、尾張旭市環境課が2022年12月に募集を開始した「エコ☆チャレ アイデア」を考える機会を設けました。その集約結果は、以下のとおりです。

◆リデュース(ごみを出さない)に関するアイデア(20件)

番号	アイデアの名称	アイデアの内容・効果
1	服デニムリサイクル	いらなくなったデニムを捨てるのではなく、集めてリメイクし、古着で販売する。
2	1袋ですべて変わる	野菜などを買うときに、例えば、キュウリ3本入りのものや、じゃがいも4つ入りになっているものを買うのではなく、ばらばらになっているものを1つの袋に入れるようにすると良い。1つの袋に入れることにより、自宅に帰って、野菜を料理し出たごみも、その袋に入れて捨てることにより、ごみの減量効果がある。
3	尾張旭生ごみキエーロ	箱の中に黒土を入れ、黒土のバクテリアによって生ごみを分解する生ごみ処理器を活用する。効果については、他自治体の事例から、一人当たり114gの生ごみを生ごみキエーロに投入、1年間の生ごみ削減量は約41.6kgであった。
4	ワンボックスチャレンジ	45ℓのごみ袋がちょうど入るほどの箱を用意し、1か月間、その範囲の中のごみで過ごす。なるべくごみを出さない生活であれば、生活費の削減となり、ごみも減らせるため、一石二鳥である。
5	ベジブロス	ベジブロスとは、野菜の出汁である。料理に当たって、野菜からは、皮や根、種やワタなどが出てしまう。それを使うことにより無駄なく栄養がとれる。野菜には、多くのフィトケミカルが含まれており、これは皮や種などの捨ててしまう部分に多くある。これをとることにより、シミ、シワ、老化防止などの高い美容効果がある。ベジブロスは出汁なので、そのままスープで飲むほかに、カレーやおひたしなど様々な料理にも利用できる。
6	食品ロスゼロ	飲食店でまだ食べられるが捨てなければならない食べ物を、普段より安く売る。店側は儲けることができるし、客も安く買うことができるので、リデュースに貢献できると思う。
7	リデュースお掃除活用	ボロボロのTシャツや穴が開いてはけなくなった靴下などをカットして、掃除の時に雑巾の代わりとして代用する。掃除をするためだけに、ペーパーや新しい雑巾を使用しなくても済むので環境にも家庭にも優しい。
8	家庭菜園	栽培が簡単な野菜を無理しない範囲で育ててみる。スーパーで買って来た野菜を使い切れなかつたりした場合のフードロスを減らす。自分自身で栽培することで、食への有難みなどを実感することができる。
9	世界に一つだけのエコバック	自分だけのオリジナルエコバックを作る場を設ける。レジ袋の使用削減に繋がる。

10	インターネットリデュースショッピング	メルカリのようなショッピングアプリ。出品者は、捨てる予定だが、まだ使用できるものを出品する。閲覧者は、欲しいと思ったアイテムを0円で引き取ることができる。出品者は、取引数に応じて町で使えるクーポンやポイントを貰うことができる。効果として、出品するものは、元々、捨てる予定だったので、ごみ削減になる。また、新品の商品を購入しなくても済むので、お金の節約や無駄な生産の回避に繋がる。
11	トイストーリー運動	使わなくなったおもちゃなどを市内の保育園、幼稚園、託児所などに寄付する。使わなくなったおもちゃを捨てるのではなく、また子どもに使ってもらおう。いわゆるトイストーリーのように、おもちゃも子どもに遊んでもらいたいと思うし、子どもたちには、おもちゃの大切さを学んでもらう。
12	フードロスアプリ	余った食べ物や賞味期限が近い食材をアプリに出品し、それを見て食べたい、欲しいと思った人が購入したり、無料で貰うことによって食品ロスを減らす。
13	お手軽、肥料化計画	堆肥化可能なビニール袋と生ごみコンポストにより、袋に入れたままの処理と分解により、袋も中身も堆肥にする。効果として、自身が汚れる可能性や手間が減るため、利用が増える。水切りが十分でなくても、袋が分解されるため、そのまま入れられることと、コンポストにも水分が必要なため、そこもカバーできる。
14	アサピーのエコバック	レジ袋は、一度使っただけで廃棄されることが多く、ごみを増やす原因になっているので、アサピーのエコバックを作成し、何らかのイベントなどで景品として配布する。
15	自家用カトラリー用具を持とう！！	コンビニやスーパーでは、無料で提供されているスプーンやフォーク、箸があるが、これらのものを会社や学校の通勤、通学時に必ず持ち歩く筆記用具のように、スプーンなどを入れる小物入れを用意して、それらを持ち歩く。使い捨ての食器を用いてご飯を食べる文化があるが、これらも数あるごみの一つであり、努力すれば、誰でも直ぐに始めることができる。
16	ごみ撲滅運動	ごみを出すとき、袋に名前を書かせる。分別できないものは回収しない。名前を書くことで、分別できていないと回収されないため、誰ができていないのか分かる。
17	ネットショップココ	食料をネットショップで買う。スーパーにまた行くのが面倒くさいから、つい大量に買ってしまうことを防ぐ。
18	ダーニング教室	ダーニングとは、穴の開いた服を繕う手芸方法で、お気に入りの洋服を、おしゃれに生まれ変わらせることができる。効果として、ごみを削減することができる。
19	使い捨てカイロを使わず、充電式、乾電池式をカイロを使う	使い捨てカイロを使わず、充電式、乾電池式のカイロを使うことを市民に奨めるとともに、市役所や市内の小売店で乾電池、充電器とセットで販売する。市役所では、販売ではなく、何らかの景品にしてみる。効果として、ごみが減るだけでなく、使い捨てカイロ以上の暖かさが得られる。一度買ったなら、壊れるまで使えるので、家計の負担も減る。充電式、乾電池式のカイロの使用を市が推進することで、市民のごみ減量意識を高めることができる。
20	用途が違って捨てるぐらいならば活用したい	ごみとなるものを有効活用することとして考えれば、使い方次第で掃除に使えるものはたくさんあるかもしれない。家でしていたこととして、例えば、いらなくなった歯ブラシを掃除用に使っていたことはある。網戸の下に黒いごみがたくさん溜まるので歯ブラシを使っていた。用途が違って捨てるに活用できることがあることを考えてもらいたい。

◆水切りに関するアイデア(4件)

番号	アイデアの名称	アイデアの内容・効果
1	ミラクルキャッチ	100均でもある生ごみネットで、調理して出た生ごみを流さずにキャッチする。臭いもしなくなるし、集まった生ごみの水切りができ、そのまま捨てることできる。
2	水。切ります。	100均でも買えそうなシンクの角に置けるような水切り用の便利なグッズを作って市に提供する。
3	水切り運動	三角コーナーなどを使わずに、自立型水切り袋を使用する。ごみを回収する人にも迷惑をかけず、ごみを出すときにも困らない。
4	生ごみ処理法	ザルの中にチラシを置き、野菜や果物の皮をザルに直接捨てる。また、夜の片付けが終わったら、三角コーナーにあるごみを取り、ザルに入れる。ザルの上に100円ショップで買えるネットをかぶせて、ベランダで一晩放置し、乾燥させた後、翌朝捨てる。効果としては、生ごみの臭いやひたひた感がなくなる。生ごみを捨てる際に、ザルをひっくり返すだけで良いので簡単に捨てられる。

◆雑紙の分別に関するアイデア(2件)

番号	アイデアの名称	アイデアの内容・効果
1	雑誌を分別する前にSNSで投稿	雑紙をただ分別するのではなく、おもしろい雑誌をSNSでみんなに広めていくことによって、雑誌を捨てる人が減ると思う。
2	紙の臭いを取る	臭いのついた紙はリサイクルできないが、脱臭剤を使って臭いを取ることで、普通の紙に戻り、雑紙として回収できる。

◆その他のアイデア(7件)

番号	構成員のご意見	修正内容
1	Air change & Make	いらなくなったTシャツやズボン、穴が開いた商品などを改良して、新しい商品として売り出したり、着たりする。また、節電をして、空気を汚さないようにする。
2	ごみ捨ての現金化	ごみ捨てをする際に、ある一定量の重さを超えたら、現金を払わないといけないようにする。ごみ捨ては、週当たり一回しか行えず、指定日にしか捨てられない。週に1回しか捨てられないので、食べ物を腐らせないようにしたり、買いすぎをしないようになる。ごみを少しでも減らすために、生ごみなら水分を減らしたりと、工夫をするようになる。
3	マスクティッシュ	使用したマスクをティッシュとして再利用する。ティッシュのごみを減らせる。
4	エコバックを作ろう！	定期的なエコバックを作る催しを開き、そこで作ったエコバックを使ってもらおう。
5	〇〇とコラボ。	ごみを出さないというのは難しいので、分別したごみを商業施設で回収する際に、〇〇(流行のYouTuber、ジャニーズ)のシールやカードを配る。すべての人が反応するわけではないが、ターゲットを絞って訴える。正直、町のマスコット、ゆるキャラのグッズを貰っても嬉しくない。依頼するのに費用がかかるのが難点。
6	バイオ廃棄物	生ごみは可燃ごみとして捨てられているが、バイオマスエネルギーとして利用するために、バイオマス廃棄物(生ごみ)専用ボックスを作る。効果として、生ごみという名前だけだと、ただのごみとして見る事が多くなってしまいが、バイオマス廃棄物という名目で新たに分別することにより、生ごみがエネルギーとして利用できることを、市民にもわかりやすく伝えることができる。
7	肥料に使えなかった生ごみの処分	生ごみキエーロを利用し、その中にある黒土内のバクテリアを使い、生ごみを分解する。肥料にならなかった生ごみを処分することができる。生ごみキエーロは、自作することもでき、家庭に普及しやすい。